

現在配属されている人数は必要な数であり、継続して働いてほしい。

□日本ケールと打ち合わせ状況

安全運行のためのオーバーホールや整備については(約1億4千万円)は、町で負担し、その後、移管してほしいとの要請があった。町では当初、瑕疵分約5千万円を予定していた。

■主な質疑

○：オーバーホール等は、必要なもの、そうでないものを精査して、協議し安くしてもらいたい。

△：オーバーホールは安全に運行し運転するために必要なもの。経費については節減に努めたい。

2 観光案内看板等の整備と今後の予定について

□調査結果

これまで案内看板は、車を対象とした誘導サイン整備を実施してきた。現在当初の整備計画から

すると完了に近い状況であるが、人(歩行者)を対象とした本格的な整備は遅れていて、整備計画は立っていない状況。委員より、歩行者への看板の整備の再構築、看板を見やすくする工夫等の意見があった。

開会中の委員会審査

平成18年9月15日(金)

●議案第70号

・平成18年度下水道特別会計補正予算(第2号)について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

歳入歳出それぞれ5千211万5千円を追加し、総額を11億4千492万7千円とするもの。

歳入は17年度決算の確定により繰越金5千211万5千円の増額補正。歳出は下水道改修基金への積み立て3千753万5千円(基金積立額1億6千123万円)、建設費の増額は湯沢浄化センターの再構築についての基本調査委託費800万

円。デスポーザ基礎調査委託費として200万円。農地の休耕補償料2名分35万円、公債費423万円は17年度の借り換え元利当初予算未計上分等。

●議案第72号

・平成18年度水道事業会計補正予算(第1号)について

□審査の結果

賛成全員で可決すべきものと決定。

(収益的収入支出の補正)

事業収益を107万7千円増額(雑収入 全国町村会総合賠償補償保険金)し、4億2千396万9千円とする。事業費用を84万4千円増額し、4億986万4千円とする。補償料107万7千円、保険料の不足分5万3千円等。

(資本的支出の補正)

万年橋の管架け替えに伴う立木補償(杉120本)65万円増。工事請負費600万円の増(豪雪のため遅れた七谷切簡水配水管等改修)。

●議案第73号

・平成18年度観光事業会計補正予算(第1号)

について

□審査の結果

賛成多数で可決すべきものと決定。

(収益的収入および支出の補正)

営業収益を7千600万円減額し、5億6千938万7千円とし、営業外収益(一般会計補助金)を2億2千45万2千円増額する。その内訳は前年度不足額(3千207万円)、廃止リフト6本撤去費(3千784万円)、借地返還補償料(773万円)、索道機器整備費(1



佐久穂町が運営する八千代高原施設で職員から説明を受ける委員

億4千280万円)に当てる。一般会計からの補助金の合計は3億8千745万6千円となる。

(資本的支出の補正)

建設改良費1千900万円減額し、1億7千557万2千円とする。ロープウェイのコンピューター制御用の機器導入を計画していたが、今回のオーバーホールでやることとした。「道路特定財源に関する意見書の発議」は採択すべきものとし提出者、賛成者を決定した。